

平成 31 年度事業計画書
平成 31 年度収支予算書兼
資金調達及び設備投資の見込

平成 31 年 3 月

公益財団法人武蔵野市国際交流協会

事業・組織体系図

〔在住外国人の生活・コミュニケーション支援に関する事業〕(1～5)

- [1] 日本語学習の支援
 - 1 日本語コース
 - 2 日本語サロン
 - 3 日本語スピーチ大会
 - 4 日本語交流員ステップアップ研修・養成講座
 - 5 外国人の親子支援検討委員会
- [2] 多言語による各種相談
 - 6 外国人のための無料専門家相談会
 - 7 予約制専門家相談
 - 8 語学ボランティア研修
- [3] 留学生の社会参加の促進
 - 9 「留学生」むさしのファミリープログラム
 - 10 留学生の社会参加に関する講座・研修等
- [4] 多言語による生活情報の提供
 - 11 多言語相談・情報提供窓口
 - 12 MIA Calendar (多言語情報紙)
 - 13 むさしのFMラジオ番組
 - 14 外国人のための防災事業
- [5] 通訳者の派遣及び翻訳
 - 15 通訳者派遣
 - 16 翻訳

〔多文化共生の地域づくりに関する事業〕(6～8)

- [6] 地域における国際理解の推進
 - 17 市民国際交流・協力・多文化共生推進事業
 - 18 教員ワークショップ
 - 19 青年ワークショップ
 - 20 むさしの国際交流まつり
- [7] 国際交流及び国際協力に関するボランティア活動の支援
 - 21 ボランティア活動説明会
 - 22 ボランティア向け各種研修、講座
 - 23 ボランティア自主事業推進委員会
 - 24 情報提供グループ
 - 25 イベントグループ
 - 26 FMラジオ番組運営委員会 (多言語ラジオ番組)
 - 27 情報紙編集委員会 (ボランティア活動情報紙)
 - 28 外国人ボランティア支援グループ
 - 29 こども国際交流クラブ
 - 30 地域への外国人等派遣
 - 31 シリーズ「世界を知ろう！」
 - 32 外国語会話交流教室
 - 33 外国人会員企画事業
- [8] 国際交流及び国際協力に関する地域団体との連携
 - 34 地域連携・共催
 - 35 他団体との協働・助成・後援

〔国際交流及び国際協力の調査研究及び広報に関する事業〕(9～10)

- [9] 国際交流及び国際協力に関する調査研究
 - 36 国際交流・協力に関する調査研究
- [10] 国際交流及び国際協力に関する広報
 - 37 機関紙「むさしのFRIENDs」の発行
 - 38 MIAホームページによる発信

【公1】 地域における国際交流及び国際協力の推進並びに在住外国人の支援に関する事業

第1 事業方針

1. はじめに

当協会（MIA）は、平成元年10月に任意団体として設立されてから、本年で30周年を迎えます。この間、平成21年4月に念願であった一般財団法人化を果たし、続く平成22年4月には当時全国でも稀な公益認定を取得し、新たに公益財団法人として運営体制を強化しました。その後は、在住外国人の生活支援・コミュニケーション支援・多文化共生の地域づくりの3つを柱とし、定款に定められた10分野にわたる事業を推進しながら、都内屈指の国際交流団体として成長してまいりました。これもひとえに武蔵野市をはじめとする関係諸団体そして役員等の皆様や協会会員、ボランティアの方々の並々ならぬご支援、ご協力の賜物として深く感謝いたします。今後も武蔵野市を中心とした市民主体の国際交流、国際協力を通じて在住外国人の支援を推進し、国際相互理解と地域の多文化共生を図り、国際平和に寄与する開かれたまちづくりに貢献してまいります。

2. 外国人をめぐる武蔵野市内外の動き

(1) 在住外国人の増加

市内在住の外国人住民は、平成元年（1989年）の協会設立当時1,686人でしたが、現在では総人口146,128人中3,169人（平成30年10月1日現在）と大きく増えていきます。また、平成30年10月発表の「武蔵野市の将来人口推計（2018～2048年）」では、外国人人口は30年後の2048年には4,445人になると見込まれています。

(2) 外国人観光客の増加

東京2020オリンピック・パラリンピック開催を1年あまり後に控え、武蔵野市をはじめ武蔵野市観光機構や市内各種団体などでもさまざまなイベントや事業が予定されています。武蔵野市は、海外友好都市のルーマニア・ブラショフ市との関係からルーマニア国のホストタウンとして登録されています。これを機に多くの外国人旅行者が武蔵野市を含めた東京都を中心として国内を訪れることが予想されます。

(3) 外国人労働者をめぐる法制度等の変更

外国人労働者の受け入れ拡大に向けた出入国管理法の改正が行われ、今後は外国人労働者のさらなる増加が見込まれます。

これらのことから、外国人住民や旅行者が今まで以上に増加することが予測され、従来からMIAが担ってきた「在住外国人の生活及びコミュニケーション支援を通じた多文化共生の地域づくり」の役割はますます重要になるとともに、そのニーズも多様化してくることが見込まれます。

平成31年度はこうした傾向に対応するため、外国人の立場に立って社会の変化に対応できる柔軟できめ細かな事業運営を役員及びボランティアの方々と共に推進してまいります。

3. 経営目標

平成 31 年度は、次の 3 つの分野において経営目標を立て、その実現に努めます。

1. 事業分野

「在住外国人支援事業への外国人参加促進」

- ・在住外国人支援事業の参加者のうち、外国人の参加者数を指標ととらえ、日本語学習支援、多言語による各種相談、留学生の社会参加の促進などへの外国人参加者増に努める。

「国際理解の推進」

- ・国際相互理解の立場から、多文化共生の地域づくりを推進するため、日本人向け事業の参加者増に努める。
- ・武蔵野市のルーマニアホストタウン事業や東京 2020 オリンピック・パラリンピック事業に協力し、国際理解を深める。

2. 財務分野

「流動比率の適正化」

- ・MIA の決算で流動比率(短期的な負債に対する返済のための財源の比率)が大きく、必要以上のストックを生じていると武蔵野市から指摘があり、東京都からも公益目的事業が「収支相償」を超えた剰余金を生じているとの指摘があったので、毎年の予算編成や事業の予算執行において収支バランスが均衡するようにチェックを行う。

3. 内部管理分野

「MIA 事業ボランティアの拡大」

- ・MIA の多くの事業はボランティアが重要な役割を果たしているとともに、その活動を支えていることからボランティア数を指標ととらえ、MIA ボランティアの登録者増に務める。

第 2 事業計画

総事業費 26,376 千円 (人件費、法人会計を除く。共通経費含む。)

〔在住外国人の生活・コミュニケーション支援に関する事業〕

事業名	概要	備考
[1]日本語学習の支援 <u>1,744 千円</u> 1. 日本語コース	<p>期間：Ⅰ期（5月～7月）Ⅱ期（10月～12月）Ⅲ期（1月～3月）、各期とも木曜日(保育有)・金曜日(保育有)・土曜日(保育無)にコースを設置、各期 10 回開催</p> <p>内容：外国人が地域で暮らすために必要な日本語学習を日本語ボランティア（日本語交流員）が支援</p>	

事業名	概要	備考
<p>2. 日本語サロン</p> <p>3. 日本語スピーチ大会</p>	<p>する。教室活動は習熟度及び目的別にいくつかのグループに分けて交流活動を行う。教室活動は原則全 10 回を 1 コースに開催。コース参加者は、マンツーマン活動にも参加できる。</p> <p>対象：日本語学習を希望する外国人市民</p> <p>定員：各コース 20 名程度（最少催行人数 5 名）</p> <p>参加費：600 円/回数</p> <p>※EPA 特別コース</p> <p>期間：Ⅲ期（1 月～3 月）計 10 回</p> <p>内容：日常会話と交流</p> <p>対象：経済連携協定のもと来日している看護師・介護福祉士候補者で当協会の日本語学習支援を希望する者</p> <p>定員：9 名</p> <p>参加費：600 円/回数</p> <p>期間：随時開催</p> <p>内容：中級レベル以上の外国人向けに、テーマを設定した活動として 4～5 回を 1 コースに日本語交流員の自主企画事業として実施</p> <p>対象：日本語習熟度が中級レベル以上の外国人市民</p> <p>定員：10 名程度</p> <p>参加費：1,000 円/1 コース</p> <p>期間：年 1 回年度末開催</p> <p>内容：外国人市民の意見発表の場としてまた市民の異文化理解の場として日本語交流員の自主企画事</p>	

事業名	概要	備考
4. 日本語交流員ステップアップ研修・養成講座	<p>業で開催 対象：登壇者：外国人市民 定員：10名程度 参加費：無料</p> <p>期間：日本語交流員ステップアップ研修と養成講座を隔年実施。 内容：日本語交流員として日本語コースの運営に関わるうえで必要な知識を学ぶため日本語交流員養成講座と既活動交流員のステップアップ研修を隔年実施 対象：日本語交流員志望者 定員：50名 養成講座参加費：10回1コース：6000円 ステップアップ研修参加費：無料</p>	平成31年度は「日本語交流員ステップアップ研修」を実施する。
5. 外国人の親子支援検討委員会	<p>日本で子育てをする外国人の親及び日本の教育制度の中で育つ日本語を母語としない子どもを支援 (外国人のための高校進学ガイダンス) 期間：年1回 内容：日本の高校へ進学希望者及び保護者に対し、受験制度、学校制度、高校での生活の紹介 対象：日本語を母語としない親子 定員：100名 (外国人小中学生のための学習支援コース、外国人児童及び生徒と親子交流会) 期間：学習支援は毎週水曜日、交流会は年1回 内容：学習支援、外国人児童・生徒と親子交流会 対象：学習支援は日本語を母語としな</p>	

事業名	概要	備考
	<p>い児童・生徒、交流会は日本語を母語としない親子</p> <p>定員：外国人小・中学生のための学習支援コース：Ⅰ期（5月～7月）Ⅱ期（10月～12月）Ⅲ期（1月～3月）、各期とも毎水曜日（午後）10回開催、10名程度、</p> <p>学芸会：15名、交流会：50名</p> <p>参加費：外国人小・中学生のための学習支援コース：600円、ガイドンス：1家庭300円（資料代）、交流会：無料</p>	
<p>[2]多言語による各種相談 449千円</p> <p>6. 外国人のための無料専門家相談会</p> <p>7. 予約制専門家相談</p> <p>8. 語学ボランティア研修</p>	<p>期間：年1回開催予定</p> <p>内容：語学ボランティアと弁護士などの専門家が全員待機し予約不要の法律、労働、心理、年金などの相談会を実施。都内全域で開催されている「都内リレー専門家相談会」の一環としてかつ専門家と語学ボランティアが一堂に会する形式として開催</p> <p>対象：外国人相談者</p> <p>定員：無</p> <p>参加費：無料</p> <p>期間：原則、毎月第4土曜日開催予定</p> <p>内容：予め電話予約を受けて、相談内容に応じて専門家と語学ボランティアをアレンジし、MIAの事務所で相談に応じる。</p> <p>対象：外国人相談者</p> <p>定員：各回4名程度</p> <p>参加費：無料</p> <p>期間：随時</p>	

事業名	概要	備考
	<p>内容：相談案件の複雑化に対応するため、基礎講座、ステップアップ講座などの語学ボランティアの研修（オリエンテーションを含む）を実施</p> <p>対象：語学ボランティア</p> <p>定員：25名程度</p> <p>参加費：無料</p>	
<p>[3] 留学生の社会参加の促進 <u>503千円</u></p> <p>9. 「留学生」むさしのファミリープログラム</p> <p>10. 留学生の社会参加に関する講座研修など</p>	<p>期間：原則、年2回（4月、10月）募集予定、1年間</p> <p>内容：近隣の大学と連携し、留学生と地域の家庭がホームビジットを基本に1年間交流するプログラムを実施。参加者向けには、交流会、講座、懇談会などを適宜無料で実施。</p> <p>対象：近隣大学の留学生、地域の家庭</p> <p>定員：各回50組程度</p> <p>参加費：無料</p> <p>期間：年2回程度</p> <p>内容：参加者向けに講座、懇談会などを適宜実施。</p> <p>対象：「留学生」むさしのファミリープログラム参加者</p> <p>定員：30名</p> <p>参加費：無料</p>	
<p>[4] 多言語による生活情報の提供 <u>3,063千円</u></p> <p>11. 多言語相談・情報提供窓口</p>	<p>期間：通年</p> <p>内容：外国人が必要とする医療機関案内、防災知識、市内の催し物などの生活情報を、コミュニティラジオ（番組）、情報紙、協会ホームページなどの媒体により多</p>	

事業名	概要	備考
<p>12. MIA Calendar (多言語情報紙)</p> <p>13. むさしの FM ラジオ番組</p> <p>14. 外国人のための防災事業</p>	<p>言語で提供。語学ボランティアが多言語で相談の受付や情報提供を行う。</p> <p>内容：外国人向け情報紙。日本語、英語、中国語、スペイン語の多言語で作成。外国人会員、関係団体、市各施設の窓口に配布 年4回発行、2,600部</p> <p>期間：月～金と月1回土曜日 内容：「NEWS from MIA」月～金の5分番組、及び「MIA プラザ」月1回土曜日に30分トーク番組放送 対象：外国人市民</p> <p>期間：随時 内容：外国人のための防災委員会を中心に、むさしの国際交流まつりやむさしの防災フェスタ等で防災に関する啓発活動を実施。また、武蔵野市と締結した「災害時における外国人支援活動に関する協定書」に基づき市防災ボランティア訓練などに参加し、連携・協力を促進。 また、外国人住民が災害弱者とならないよう、どのような支援が可能か、環境づくりができるか、模索・検討しながら事業を行う。</p>	
<p>[5] 通訳者の派遣及び翻訳 <u>777千円</u></p> <p>15. 通訳者の派遣</p> <p>16. 翻訳</p>	<p>期間：随時 内容：医療・教育・行政窓口・法律相談に関する通訳派遣及び翻訳依</p>	

事業名	概要	備考
	<p>頼に対し語学ボランティアに個別依頼しボランティアができる範囲での通訳及び翻訳活動を実施。</p> <p>通訳費用：2時間以内 8,000円 翻訳費用：A5判用紙1枚以内 5,000円</p>	

[多文化共生の地域づくりに関する事業]

事業名	概要	備考
<p>[6] 地域における国際理解の推進 <u>2,627千円</u></p> <p>17. 市民国際交流・協力・多文化共生推進事業</p>	<p>期間：年2～3回開催 内容：国際理解、国際平和、多様な文化などについて市民に理解を深めてもらえるように市民講座を開催 平成30年度に引き続き、武蔵野市ルーマニアホストタウン事業の主旨に鑑み、市民向けにルーマニアをテーマとした講座を開催する。ルーマニア語や文化・社会等に親しむ講座の形態で、武蔵境地域以外でも開催することを想定している。 対象：在住、在勤、在学の市民 定員：20名程度 参加費：無料～300円程度</p>	
18. 教員ワークショップ	(平成29年度をもって終了)	
19. 青年ワークショップ	期間：年2～3回	

事業名	概要	備考
20. むさしの国際交流まつり	<p>内容：大学生をはじめとする地域の青年を対象に国際理解や多文化共生の学びの場としての国際理解講座を開催する。また、地域の大学や学生ボランティア等と協働してイベントや講座を開催</p> <p>対象：大学生、地域の青年</p> <p>定員：20名程度</p> <p>参加費：無料</p> <p>期間：年1回、11月上旬～中旬の日曜日に開催</p> <p>内容：MIAの活動を広く一般市民に周知し、より多くの市民に活動に参加してもらえるよう家族ぐるみで楽しめる交流の場として年1回開催。会員、外国人会員、当日ボランティアなどにより運営されNGO、NPO、地域商店会、大学などの協力を得て多文化共生のまちづくりに寄与する。多くの市民にご来場いただけるよう、広報・周知活動に力を入れて開催</p> <p>定員：無</p> <p>参加費：無料</p>	
<p>[7] 国際交流及び国際協力に関するボランティア活動の支援 967千円</p> <p>21. ボランティア活動説明会</p>	<p>(1) ボランティア活動説明会 (原則下記(2)との隔年開催になるが、平成29年度の実施分を平成30年度明けに実施するため、平成30年度に限り同時開催する。)</p> <p>期間：年1回程度で開催</p> <p>内容：会員、一般市民を対象にMIAの</p>	

事業名	概要	備考
<p>22. ボランティア向け各種研修、講座</p> <p>23. ボランティア自主事業推進委員会</p>	<p>ボランティア活動への参加を呼びかけるため各種説明会を実施 対象：会員ボランティア、在住、在勤、在学の市民 定員：50名程度 参加費：無料</p> <p>(2) 外国人ボランティア交流会 (上記(1)との隔年開催) 期間：年1回開催 内容：MIAのボランティア活動への参加を外国人に呼びかけるため説明会と外国人同士の交流会を実施 対象：会員ボランティア、在住、在勤、在学の市民 定員：30名程度</p> <p>参加費：無料 期間：随時 内容：ボランティアの活動の支援として様々な研修、講座を開催 対象：会員ボランティア 定員：30名程度 参加費：1,000円程度</p> <p>期間：年4回開催 内容：会員の自主的な活動を推進するため各自主事業グループ代表、会員の推薦する委員などによって構成される委員会であり、会員から申請される新規事業の検討・承認・推進やボランティア間の情報交換を行う。 対象：会員ボランティア 定員：16名</p>	

事業名	概要	備考
24. 情報提供グループ	内容：「情報提供グループ」は、活動メンバーが減ったことや情報収集の多様化などによる情報コーナーの利用回数が漸減したためより有効な活動について検討することにして平成 23 年度で活動を一度終了した。	
25. イベントグループ	内容：外国人会員企画事業であるシリーズ「世界を知ろう！世界のひとふれあおう！」の準備、実施のためのサポートを中心に活動 対象：会員ボランティア	
26. FMラジオ番組運営委員会（多言語ラジオ番組）	内容：むさしのFMラジオ番組(多言語)における「NEWS from MIA」の原稿作成、翻訳、収録及び「MIA プラザ」の出演など運営を担当。 対象：会員ボランティア	
27. 情報紙編集委員会	内容：MIA のボランティア活動の状況を編集委員会が取材・編集・印刷する「MIA Volunteer News」を発行（年4回、1,100部発行） 対象：会員ボランティア	
28. 外国人ボランティア支援グループ	内容：MIA 登録外国人がボランティアとして自国の文化を紹介する際（外国人会員自主企画事業など）の実務面のサポート。 対象：会員ボランティア	
29. こども国際交流クラブ	期間：随時、年10回開催予定 内容：3歳からのこどもと親対象の国際理解プログラム。 対象：在住、在勤、在学の市民	

事業名	概要	備考
30. 地域への外国人など派遣	<p>定員：18名程度 参加費：お料理コース：1組2,000円</p> <p>期間：随時 内容：地域の小中学校などへ外国人を派遣。直接、児童・生徒などと交流し、外国の衣食住・多様な言語・文化などを紹介 対象：地域の小・中学校、コミュニティセンターなど 定員：派遣先の団体による</p>	
31. シリーズ「世界を知ろう！世界の人とふれあおう！」	<p>期間：年5～6回開催 内容：イベントグループのサポートで外国人会員が出身の国や文化を紹介 対象：在住、在勤、在学の市民 定員：30名 参加費：無料</p>	
32. 外国語会話交流教室	<p>期間：年4コース開催（土曜クラス3コース、平日クラス1コース） 内容：外国人会員が8回を1コースとして自国の言語や文化を紹介しながら市民と交流 対象：在住、在勤、在学の市民 定員：20名（最少催行人数10名） 参加費：6,000円</p>	
33. 外国人会員企画事業	<p>期間：年3～4回開催 内容：外国人会員の自主企画として料理、音楽などの文化・特技を幅広く紹介 対象：在住、在勤、在学の市民 定員：原則20名（最少催行人数10名）</p>	

事業名	概要	備考
	参加費：2,000円	
[8] 国際交流及び国際協力に関する 地域団体との連携 <u>488千円</u> 34. 地域連携・共催	内容：地域における国際交流及び多文化共生の推進、地域活性化のため地域連携を推進。市内の諸団体との共催イベントや、さかいマルシェ、武蔵境ピクニックなどの地域イベントへ出店及び参加。また、地域の大学などに外国人会員、協会ボランティア、協会職員などを講師として派遣し、当協会の活動や多文化共生について理解促進に努める。	
35. 他団体との協働・助成・後援	内容：市内各団体、企業、学校、NPO、他国際交流協会、都内相談ネットワークなどと連携協働。事業単位では、助成・後援を随時行う。また、協会の会議室、印刷機、団体紹介BOX等の便宜供与	

〔国際交流及び国際協力の調査研究及び広報に関する事業〕

事業名	概要	備考
[9] 国際交流及び国際協力に関する調査研究 36. 国際交流・協力に関する調査研究	内容：国際交流・協力に関する調査研究をアンケート、資料収集、専門家からの意見聴取などにより適宜実施	
[10] 国際交流及び国際協力に関する広報 2,320千円 37. 機関紙「むさしのFRIENDs」の発行	内容：協会の活動方針、在住外国人が抱える問題などをテーマにした特集記事、活動報告、及び各種イベントの案内などを掲載する機関紙を年4回、各月	

事業名	概要	備考
38. MIA ホームページによる 発信	<p>1,600部発行。機関紙は会員の他、地域公共施設などに無料で配布</p> <p>内容：ボランティア情報、イベント参加情報の効果的な情報発信に一層努め、協会の効果的な広報に活かしていけるようホームページの運用に心がける。</p>	

収 支 予 算 書

平成31年4月1日～平成32年3月31日

(単位：円)

科 目		平成31年度			備 考
		公益目的事業会計	法人会計	合 計	
大	中 科 目				
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益		0	800	800	
	基本財産受取利息	0	800	800	定期預金運用
特定資産運用益		500	100	600	
	特定資産運用利息	500	100	600	退職給付引当資産
受取会費		1,300,000		1,300,000	
	個人会員受取会費	1,000,000	0	1,000,000	1年2.5千円 3年会員6千円
	家族会員受取会費	140,000	0	140,000	1年3.5千円 3年会員9千円
	団体会員受取会費	160,000	0	160,000	1口1.1万円
事業収益		3,327,000		3,327,000	
	日本語学習の支援	858,000	0	858,000	日本語コース参加者負担金等
	通訳者の派遣及び翻訳	1,085,000	0	1,085,000	通訳派遣料及び翻訳料
	地域における国際理解の推進	345,000	0	345,000	青年WS、国際交流まつり等
	国際交流及び協力に関するボランティア活動の支援	565,000	0	565,000	外国人会員企画事業等
	多言語による各種相談事業	0	0	0	講師謝礼等
	国際交流及び協力に関する地域団体連携	150,000	0	150,000	地域団体への講師派遣等
	国際交流及び協力に関する広報	324,000	0	324,000	バナー広告料
受取補助金等		56,014,000	10,402,000	66,416,000	
	市受取補助金	56,000,000	10,400,000	66,400,000	武蔵野市運営補助金
	その他補助金	14,000	2,000	16,000	武蔵野市勤労者互助会
受取寄付金		10,000	0	10,000	
	受取寄付金	10,000	0	10,000	会員寄付等
雑収益		10,500	100	10,600	
	受取利息	500	100	600	普通預金利息
	雑収益	10,000	0	10,000	複写機使用負担金等
経常収益 計		60,662,000	10,403,000	71,065,000	
(2) 経常費用					
事業費		62,818,000		62,818,000	協会の事業に要する経費
	給料手当	28,914,000		28,914,000	常勤職員6名
	通勤費	504,000		504,000	同上
	臨時雇賃金	1,254,000		1,254,000	アルバイト職員
	福利厚生費	4,820,000		4,820,000	常勤職員6名
	退職給付費用	950,000		950,000	常勤職員3名
	会議費	77,000		77,000	委員会、反省会等
	旅費交通費	1,616,000		1,616,000	ボランティア交通費等
	通信運搬費	633,000		633,000	郵送料、宅配便等
	消耗品費	1,033,000		1,033,000	事務用品、材料費等
	筆耕翻訳料	492,000		492,000	MIA Calendar 翻訳料等
	印刷製本費	2,694,000		2,694,000	30周年記念誌、機関紙印刷等
	賃借料	12,292,000		12,292,000	事務所賃借料、イベント用機器賃借料
	広告料	2,067,000		2,067,000	むさしのFM番組放送料
	保険料	163,000		163,000	ボランティア、イベント、事務所保険等
	支払手数料	65,000		65,000	振込手数料等
	諸謝金	2,872,000		2,872,000	研修講座の講師謝金等
	支払助成金	680,000		680,000	地域の国際交流事業助成等
	委託費	1,692,000		1,692,000	複写機保守料等

(単位：円)

科 目		平成31年度			備 考
		公益目的事業会計	法人会計	合 計	
大	中 科 目				
	管理費		9,505,000	9,505,000	協会の管理に要する経費
	役員報酬		4,578,000	4,578,000	理事、評議員、監事、監査報酬等
	通勤費		240,000	240,000	理事長分
	福利厚生費		248,000	248,000	同上
	退職給付費用		0	0	同上
	交際費		50,000	50,000	新年会、地域団体会合費等
	会議費		10,000	10,000	委員会、反省会等の費用
	旅費交通費		5,000	5,000	管理関係出張旅費
	通信運搬費		370,000	370,000	電話料、郵送料等
	消耗什器備品費		300,000	300,000	パソコン、事務機器等
	消耗品費		157,000	157,000	事務用品
	図書・研修費		110,000	110,000	新聞、雑誌の購読料、書籍代等
	修繕費		200,000	200,000	会議室クロス貼替、事務機器修繕等
	印刷製本費		50,000	50,000	会員証、封筒印刷等
	光熱水料費		300,000	300,000	電気使用料等
	賃借料		1,357,000	1,357,000	事務用機器リース料
	事務所管理費		836,000	836,000	事務所専用部業務費等
	支払手数料		25,000	25,000	振込手数料等
	租税公課		10,000	10,000	登記料、印紙税等
	負担金		60,000	60,000	負担金、年会費等
	諸謝金		20,000	20,000	パソコン、システム関連謝金等
	委託費		579,000	579,000	会計ソフトサポート、会計顧問料等
	経常費用 計	62,818,000	9,505,000	72,323,000	
	評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 2,156,000	898,000	▲ 1,258,000	
	基本財産評価損益等	0	0	0	
	特定資産評価損益等	0	0	0	
	評価損益等計	0	0	0	
	当期経常増減額	▲ 2,156,000	898,000	▲ 1,258,000	
	2. 経常外増減の部				
	(1) 経常外収益				
	経常外収益計	0	0	0	
	(2) 経常外費用				
	経常外費用計	0	0	0	
	当期経常外増減額	0	0	0	
	他会計振替額	687,163	▲ 687,163		
	当期一般正味財産増減額	▲ 1,468,837	210,837	▲ 1,258,000	
	一般正味財産期首残高	1,468,837	2,768,178	4,237,015	
	一般正味財産期末残高	0	2,979,015	2,979,015	
	II 指定正味財産増減の部				
	受取補助金等				
	市受取補助金	0	0	0	
	受取寄付金				
	受取寄付金	0	0	0	
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	
	指定正味財産期首残高	0	3,000,000	3,000,000	法人基本財産
	指定正味財産期末残高	0	3,000,000	3,000,000	
	III 正味財産期末残高	0	5,979,015	5,979,015	

収支予算書（前年度対比）

平成31年4月1日～平成32年3月31日

（単位：円）

大	科 目 中 科 目	平成31年度			平成30年度			前年度比	備 考
		公益目的事業 会計	法人会計	合 計	公益目的事業 会計	法人会計	合 計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
	基本財産運用益	0	800	800	0	800	800	0	
	基本財産受取利息	0	800	800	0	800	800	0	定期預金運用
	特定資産運用益	500	100	600	500	100	600	0	
	特定資産運用利息	500	100	600	500	100	600	0	退職給付引当資産
	受取会費	1,300,000		1,300,000	1,270,000		1,270,000	30,000	
	個人会員受取会費	1,000,000		1,000,000	950,000		950,000	50,000	1年2.5千円 3年会員6千円
	家族会員受取会費	140,000		140,000	100,000		100,000	40,000	1年3.5千円 3年会員9千円
	団体会員受取会費	160,000		160,000	220,000		220,000	▲ 60,000	1口1.1万円
	事業収益	3,327,000		3,327,000	3,415,000		3,415,000	▲ 88,000	
	日本語学習の支援	858,000		858,000	1,113,000		1,113,000	▲ 255,000	日本語コース参加者負担金等
	通訳者の派遣及び翻訳	1,085,000		1,085,000	810,000		810,000	275,000	通訳派遣料及び翻訳料
	地域における国際理解の推進	345,000		345,000	378,000		378,000	▲ 33,000	教員WS、青年WS、国際交流まつり等
	国際交流及び協力に関するボランティア活動の支援	565,000		565,000	608,000		608,000	▲ 43,000	外国人会員企画事業等
	多言語による各種相談事業	0		0	0		0	0	講師謝礼等
	国際交流及び協力に関する地域団体連携	150,000		150,000	170,000		170,000	▲ 20,000	地域団体への講師派遣等
	国際交流及び協力に関する広報	324,000		324,000	336,000		336,000	▲ 12,000	パンナー広告料
	受取補助金等	56,014,000	10,402,000	66,416,000	52,812,000	9,402,000	62,214,000	4,202,000	
	市受取補助金	56,000,000	10,400,000	66,400,000	52,800,000	9,400,000	62,200,000	4,200,000	武蔵野市 運営補助金
	その他補助金	14,000	2,000	16,000	12,000	2,000	14,000	2,000	武蔵野市勤労者互助会
	受取寄付金	10,000	0	10,000	10,000	0	10,000	0	
	受取寄付金	10,000	0	10,000	10,000	0	10,000	0	会員寄付等
	雑収益	10,500	100	10,600	10,500	100	10,600	0	
	受取利息	500	100	600	500	100	600	0	普通預金利息
	雑収益	10,000	0	10,000	10,000	0	10,000	0	複写機使用負担金等
	経常収益 計	60,662,000	10,403,000	71,065,000	57,518,000	9,403,000	66,921,000	4,144,000	
(2) 経常費用									
	事業費	62,818,000		62,818,000	61,007,000		61,007,000	1,811,000	協会の事業に要する経費
	給料手当	28,914,000		28,914,000	28,524,000		28,524,000	390,000	常勤職員6名
	通勤費	504,000		504,000	456,000		456,000	48,000	同上
	臨時雇賃金	1,254,000		1,254,000	1,254,000		1,254,000	0	アルバイト職員
	福利厚生費	4,820,000		4,820,000	4,744,000		4,744,000	76,000	常勤職員6名
	退職給付費用	950,000		950,000	749,000		749,000	201,000	常勤職員3名
	会議費	77,000		77,000	72,000		72,000	5,000	委員会、反省会等
	旅費交通費	1,616,000		1,616,000	1,625,000		1,625,000	▲ 9,000	ボランティア交通費等
	通信運搬費	633,000		633,000	680,000		680,000	▲ 47,000	郵送料、宅配便等
	消耗品費	1,033,000		1,033,000	1,117,000		1,117,000	▲ 84,000	事務用品、材料費等
	筆耕翻訳料	492,000		492,000	500,000		500,000	▲ 8,000	MIA Calendar 翻訳料等
	印刷製本費	2,694,000		2,694,000	1,751,000		1,751,000	943,000	機関紙印刷等
	賃借料	12,292,000		12,292,000	12,180,000		12,180,000	112,000	事務所賃借料、イベント用機器賃借料
	広告料	2,067,000		2,067,000	2,048,000		2,048,000	19,000	むさしのFM番組放送料
	保険料	163,000		163,000	154,000		154,000	9,000	ボランティア、イベント、事務所保険等
	支払手数料	65,000		65,000	70,000		70,000	▲ 5,000	振込手数料等
	諸謝金	2,872,000		2,872,000	2,839,000		2,839,000	33,000	研修講座の講師謝金等
	支払助成金	680,000		680,000	680,000		680,000	0	地域の国際交流事業助成等
	委託費	1,692,000		1,692,000	1,564,000		1,564,000	128,000	複写機保守料等

科 目 大 中 科 目	平成31年度			平成30年度			前年度比	備 考
	公益目的事業 会計	法人会計	合 計	公益目的事業 会計	法人会計	合 計		
管理費		9,505,000	9,505,000		8,935,000	8,935,000	570,000	協会の管理に要する経費
役員報酬		4,578,000	4,578,000		4,486,000	4,486,000	92,000	理事、評議員、監事、監査報酬等
通勤費		240,000	240,000		240,000	240,000	0	理事長分
福利厚生費		248,000	248,000		246,000	246,000	2,000	同上
退職給付費用		0	0		0	0	0	同上
交際費		50,000	50,000		35,000	35,000	15,000	新年会、地域団体会合費等
会議費		10,000	10,000		5,000	5,000	5,000	委員会、反省会等の費用
旅費交通費		5,000	5,000		10,000	10,000	▲ 5,000	管理関係出張旅費
通信運搬費		370,000	370,000		351,000	351,000	19,000	電話料、郵送料等
消耗什器備品費		300,000	300,000		200,000	200,000	100,000	パソコン、事務機器等
消耗品費		157,000	157,000		150,000	150,000	7,000	事務用品等
図書・研修費		110,000	110,000		120,000	120,000	▲ 10,000	新聞、雑誌の購読料、書籍代等
修繕費		200,000	200,000		50,000	50,000	150,000	事務所、事務機器修繕等
印刷製本費		50,000	50,000		20,000	20,000	30,000	会員証、封筒印刷等
光熱水料費		300,000	300,000		264,000	264,000	36,000	電気使用料等
賃借料		1,357,000	1,357,000		1,249,000	1,249,000	108,000	事務用機器リース料
事務所管理費		836,000	836,000		829,000	829,000	7,000	事務所専用部業務費等
支払手数料		25,000	25,000		25,000	25,000	0	振込手数料等
租税公課		10,000	10,000		5,000	5,000	5,000	登記料、印紙税等
負担金		60,000	60,000		50,000	50,000	10,000	分担金、年会費等
諸謝金		20,000	20,000		0	0	20,000	パソコン、システム関連謝金等
委託費		579,000	579,000		600,000	600,000	▲ 21,000	会計ソフトサポート、会計顧問料等
経常費用計	62,818,000	9,505,000	72,323,000	61,007,000	8,935,000	69,942,000	2,381,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 2,156,000	898,000	▲ 1,258,000	▲ 3,489,000	468,000	▲ 3,021,000	1,763,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	▲ 2,156,000	898,000	▲ 1,258,000	▲ 3,489,000	468,000	▲ 3,021,000	1,763,000	
2. 経常外増減の部							0	
(1) 経常外収益							0	
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用							0	
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額	687163	▲ 687163	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	▲ 1,468,837	210,837	▲ 1,258,000	▲ 3,489,000	468,000	▲ 3,021,000	1,763,000	
一般正味財産期首残高	1,468,837	2,768,178	4,237,015	4,180,349	1,516,191	5,696,540	▲ 1,459,525	
一般正味財産期末残高	0	2,979,015	2,979,015	691,349	1,984,191	2,675,540	303,475	
II 指定正味財産増減の部							0	
受取補助金等							0	
市受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	
受取寄付金							0	
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	0	法人基本財産
指定正味財産期末残高	0	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	0	
III 正味財産期末残高	0	5,979,015	5,979,015	691,349	4,984,191	5,675,540	303,475	

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定	なし
--------	----

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定	なし
---------	----